

広島県中小企業団体中央会 2017年2月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比1.9%減少、前年同月比9.5%増加、売上高は前月比2.3%減少、前年同月比5.0%増加となった。

広島食品工業団地協同組合

平成28年12月、廃業により1社脱退した。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成29年1月の全国の住宅着工戸数は76,491戸で、前年同月比12.8%増加、また、季節調整済年率換算値では100.1万戸（前月比8.4%減少）となった。利用関係別では、持家は20,228戸で前年同月比0.2%減少、貸家は31,684戸で前年同月比12.0%増加、分譲住宅は24,061戸で前年同月比27.3%増加となった。なお、木造住宅の着工数は39,079戸で、前年同月比4.2%増加となった。

全国の住宅着工の動向は、前年同月比で7ヶ月連続の増加となる中、広島県内の1月の着工戸数は1,283戸で前年同月比1.8%増加、このうち、持家は394戸で前年同月比2.6%の増加、貸家は598戸で前年比4.8%減少、分譲は291戸で前年比17.3%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の消費税増税延期後の低金利の追い風による堅調な動きから減少に転じ、地域別では広島市が着工戸数613戸で5.7%減少、東広島市が81戸で33.6%減少となった一方で、福山市は220戸で4.3%増加、呉市は88戸で51.7%増加、廿日市市は52戸で52.9%等と地域間でばらつきが見られ、また、ピークを過ぎたプレカット部門の先行き不安や、一般製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に偏りがある結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

国内の景況感は先月から特に変化はない。

為替相場に不透明感が漂っており、売上予測が立てにくい状況である。短期的には、原材料費高騰の影響をうけることが予想される。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は全体的に各社横ばいの傾向にある。自動車関連は上昇傾向にある。

原油市況の値上がりを背景として、今後樹脂の値上げが懸念される。

●医薬品製造業

広島県製薬協会

1社脱退となり、17社となった。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年2月 3,282m³ (対前年3.98%減少)

29年1月 2,565m³

28年2月 3,418m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

原材料の仕入価格が上昇傾向にある。

商社が在庫を持たなくなっていることもあり、急な受注に対応するためには、倉庫を確保する必要があるが、経費がかかることと、近隣の貸倉庫は既にいっぱい状態であり、対応に苦慮されている。

求人を出しても応募がない。人手不足の状況である。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区のコンプレッサー関係、製鉄関係及びタイヤ機械は受注が伸び悩み、低操業で、江波地区の航空機関係はボーイングの減産に伴い定時操業である。それに伴い、協力会社各社の操業もそれぞれの業種でばらつきが出ている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は前月比3%減少、前年同月比1%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は前年比、前年同月比共に変化なしとなった。国内外で受注が好調である。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

2月の国内自動車販売台数は全需が485千台、前年同月比7.4%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比13.4%増加と7ヶ月連続の前年超え、軽自動車は2.0%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は9.7%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの1月の全需は1,144千台で前年同月比0.4%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同10.1%増加と6ヶ月振りの前年超えとなった。

欧州の1月の全需は1,300千台で、前年同月比8.6%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同7.3%減少と6ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の1月の全需は2,412千台で、前年同月比3.7%減少。マツダ車も同3.7%減少と8ヶ月振りの前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は108千台、前年同月比2.3%減少と10ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの1月の輸出動向については、輸出台数は前年比19.2%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの1月の国内生産台数は、前年同月比13.9%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年2月の船舶建造許可実績は4隻371,400総トン(前月1隻6,600

総トン、前年同月2隻67,900総トン)であった。なお、この3隻は貨物船で1隻は油槽船となっており、全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

廃業により、組合員が1社脱退した。

広島家具工業協同組合

特に変化はない。高級品の売上がやや苦戦している。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

今般、行政に対し、当組合を含む商工センター全体で「街づくり」提案を実施した。メッセコンベンションの誘致を含む大規模な提案で、街が近代化すれば、人や情報が集い、消費も活性化する。商工センター全体が活気溢れる街になることを期待している。

「資材関連」においては、官民工事は安定、資材関連は前年比増加で推移している企業が多い。

「食品」においては、概ね前年並みに推移している。

「繊維」においては、婦人下着のうち、海外生産を委託している卸業者は、現地での労働者不足やキャパシティオーバー等の影響により、輸入商品の納入遅れがあり販売計画に支障をきたす場合がある。紳士服は量販向けの売上が減少、消費者の節約志向が影響している。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、中国からの受注回復によりやや増加、前年比増加となっている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2月19日、廿日市草津道路が開通し、西部卸団地はますます流通団地として魅力ある団地となり、交通の利便性もあるため、今後、企業出店による建設工事に期待する。

4月オープンの大型店舗LECTの工事が佳境に入っている。テナント工事も多数あり、我々電設卸業も恩恵を受けている。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

1店舗、4月末で閉店することが決まっている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

2月に入り、需要は上向きつつある。主産地の熊本では、製織にも引き合いにも活気が出てきた。エンドユーザーからの受注も増加している。若干気温が上昇し暖かくなったことと、年度末を控えているためであると推察している。

備後畳表についても同様の傾向にあり、中国産表についてはJAS2等が主力として活気を呈し

ている。3月から4月にかけてさらに期待が持てるものと見ている。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

引き続き、競合店の進出により売上、客数の減少が続いている。2月は日数が少ない等も影響し、売上が厳しい状況に変わりはない。

チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

2月の売上は、前年比減少、前月比増加となった。組合員の減少と外部得意先の減少が売上減少の要因である。また、社員の退職等による人手不足により、積極的な活動が出来なくなっていることも影響している。4月からは新体制により、売上の確保を図っていく予定である。

一方、店舗では、2月は節分、バレンタインと行事が続いたが、思ったほどの売上には結びつかず、売上は減少した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

2月度の販売実績は前年同月比7.9%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比2.6%減少、BDレコーダー同10.0%減少、音響・車載機器同25.5%減少、冷蔵庫同6.7%減少、洗濯機同10.7%減少、エアコン同9.3%減少、エコキュート同2.2%増加、IHクッキングヒーター同2.4%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

店舗関連で、元事務機器・文房具販売店であった空き店舗に飲食店が出店するとの情報があり、現在工事中である。また、宝飾店が3月、廃業予定である。

商店街にある住宅・マンション賃貸業者では、企業や自衛隊の転勤に伴う賃貸住宅の借換需要のため、1月～3月は無休で営業中しているが、契約件数は前年並み。商店街周辺では賃貸マンションは不足気味とのことであり、賃貸アパートの契約が多い。

広島金座街商店街振興組合

イオンモールの増床や廿日市ゆめタウンの影響により、売上は前年比減少となっている。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比46.2%増加、前年同月比3.8%増加。車検場収入は前月比44.1%減少、前年同月比4.0%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比15.1%増加、前年比0.3%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型ショッピングセンターのオープンを控え、一部の企業においては多忙となっており、全体としてもやや好況である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

売上について、壁装はやや減少したが、カーテン工事、敷物工事、壁装工事の3品目合計では前月比27.2%増加、前年同月比3.9%と先月に引き続き増加した。累計前年比も昨年10月以降4ヶ月ぶりに前年比増加となった。3月までの上積みに期待したい。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共案件の発注は、繰越案件を除き、ほぼ止まっているため、中小零細各社は民間需要を積極的に受注する傾向となっている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比 71.1%減少、前年同月比 41.6%減少となった。1月末が平成 28 年度固定価格買取制度の申請期限となっていたため、その駆け込みの反動により 2月の申請は大きく減少した。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

2月の売上高は及び収益状況は、前月比、前年同月比共に大きな変化はない。

住宅関連の輸送は、低金利の影響で好調のまま推移している。建設土木関連の輸送は、年度末に向けて増加傾向にある。農業関連の輸送は、毎年のことながら、春先の作付けに向け、肥料等が動いている。それ以外の業種において特に大きな変化はない。

現在、国では長時間労働抑制のため、1ヶ月の時間外労働を全ての業種において上限60時間、年間720時間までにするよう議論がなされている。しかし、宅配便大手のヤマト運輸でも報道等で見られるように、ドライバー不足が深刻化している運送業界においては、時間外労働の規制が厳しくなると、現在と同等のサービス提供が難しくなることが予想される。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格は多少落ち着いてきた感がある。荷物量は減少している。

広島県ロジネット協同組合

2月の荷動きは、昨年より荷物量は増加し、国内輸送においては慌ただしさを感じる月となった。その影響もあり、車両不足は、前月に引き続き改善される状況にはない。鉄鋼関連・自動車部材も堅調であった。物流大手も人手不足に苦慮しているようである。

3月は決算期であり、また、引越し業界なども繁忙期を迎えるため、引き続き人材確保が大きな課題となる。

軽油価格は原油価格が安定しており、1ヶ月を通して、ほぼ横ばいで推移した。しかし、国内在庫と供給のバランスは少し崩れている様子である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、前月比、前年同月比共市町の固定資産評価替えを行っているため、一般鑑定の評価業務を控えていたため、売上高、収益状況が悪化している。

不動産市場においては、マンション販売状況がやや鈍化している。